

キリンビール 2013年4月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、マイナスとなったものの、定番商品の「一番搾り」や「淡麗グリーンラベル」はプラスとなるなど、好調に推移。
- ビール計は、マイナス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、マイナス。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、「一番搾りフローズン〈生〉」や「一番搾りツートン〈生〉」の展開により、プラス。特に業務用の樽と、2月にリニューアルした「一番搾り スタウト」が好調。

《発泡酒》

- ◆「淡麗」シリーズは市場同様にマイナスとなったものの、「淡麗グリーンラベル」はプラス。

《新ジャンル》

- ◆ 8年連続売上げNo. 1※の「のどごし〈生〉」は、マイナス。
- ◆ 機能性新ジャンルとして定着した「キリン 濃い味〈糖質0（ゼロ）〉」が対前年約1割増。2月に発売し、堅調に推移している「キリン 濃い味〈DELUXE（デラックス）〉」とともに、店頭でのさらなる支持拡大を図る。
- ◆ 5月14日にはキリンの“傑作”である「澄みきり」を発売。初回出荷が「のどごし〈生〉」発売以降最大となる3,000万本（350ml換算）を達成するなど、好調なスタート。

※ 2005年「その他の雑酒②」、2006年～2012年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

《RTD》

- ◆「氷結」は、スタンダードシリーズやストロングシリーズを中心に好調で、季節限定商品の発売も寄与し、対前年約1割増。
- ◆「本搾り」は、対前年約6割のプラスとなるなど大幅増。

2. 洋酒販売動向

- ◆ 主力商品である「富士山麓」と「ジョニーウォーカー」は、2カ月連続で2桁増となるなど、好調に推移。

以 上